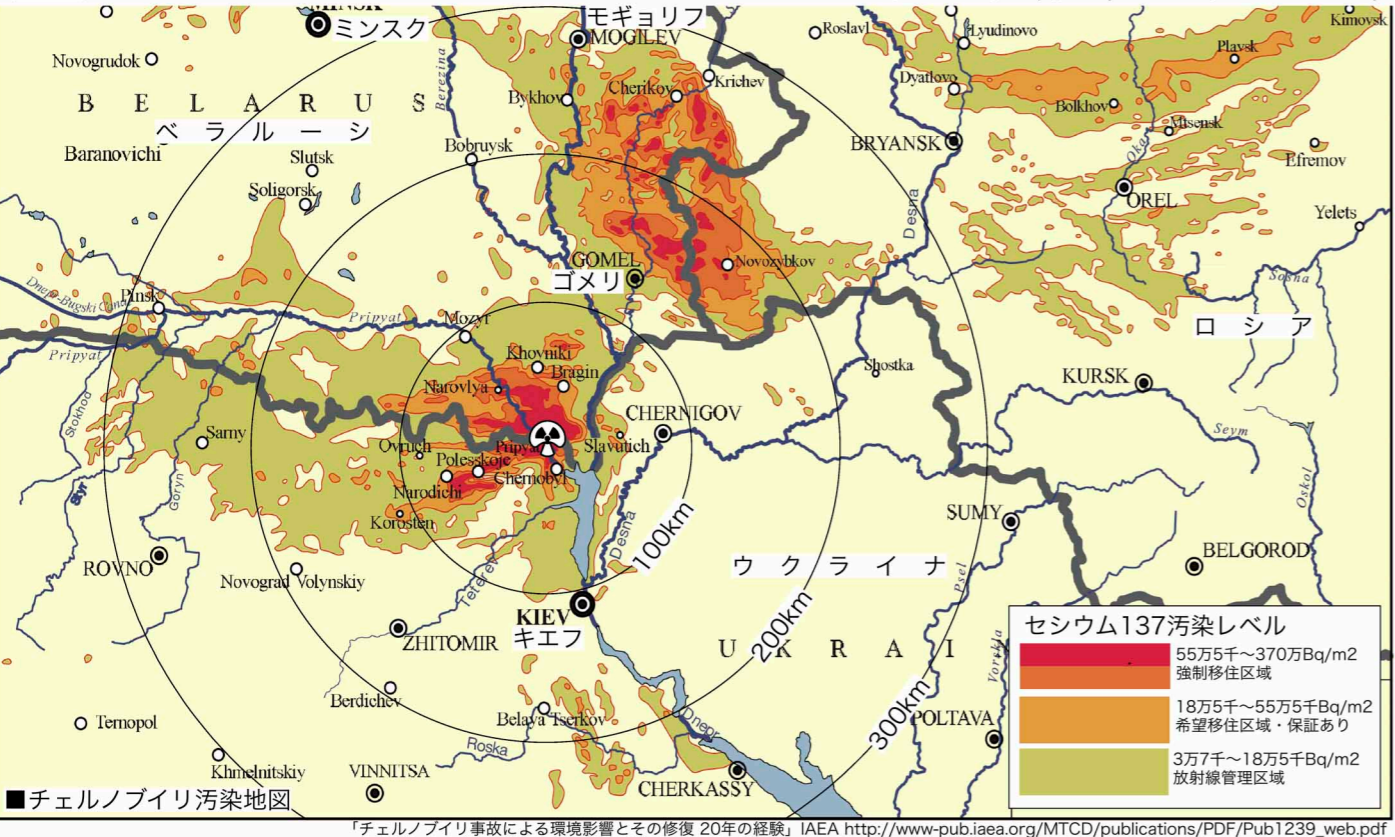
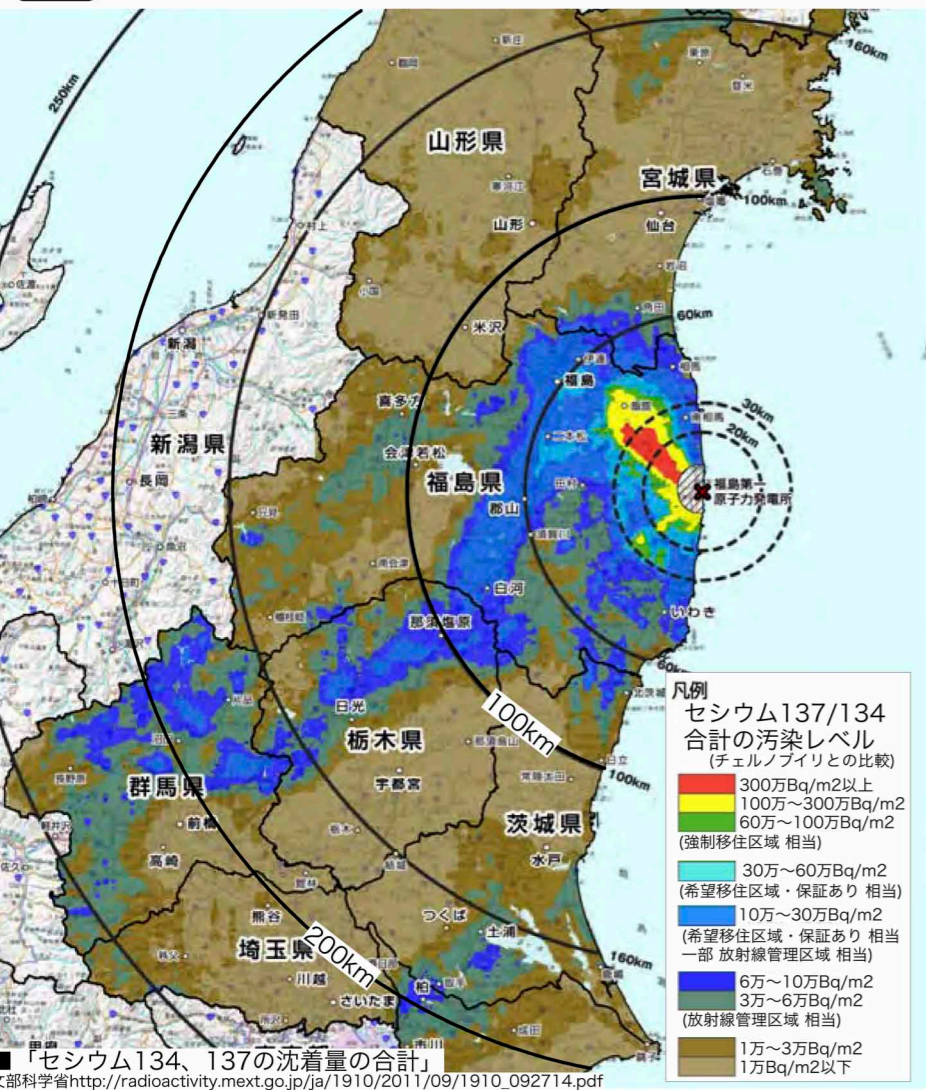


1 チェルノブイリ事故後、菅谷昭氏(現松本市長)は激増した小児甲状腺がん手術の支援でミンスクに入り、その後さらに汚染の激しいゴメリへ移り子どもたちを手術し続けた。健康被害は「汚染地」と認められていない土地でも今なお増え続けていて、収束は見えていない。



2 チェルノブイリでの移住基準に照らせば、60km圏内の半分以上が移住対象の地域。100km圏内を越え栃木県や群馬県にも点在している。行政発表の色分け図は↓このような過小な印象を誘う配色が多いので必ず数字と照らして見るようにしましょう

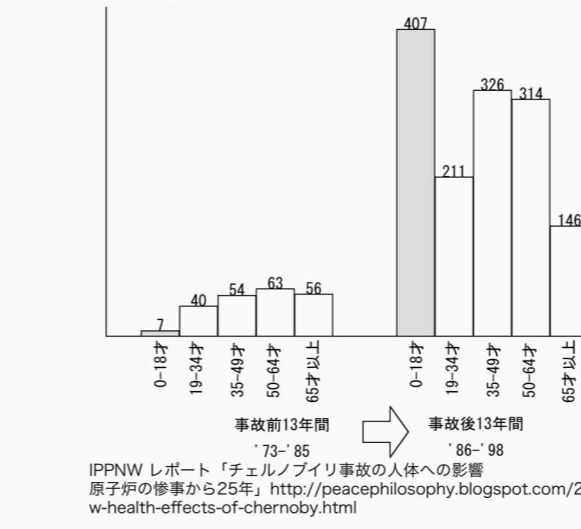


Help Japan!

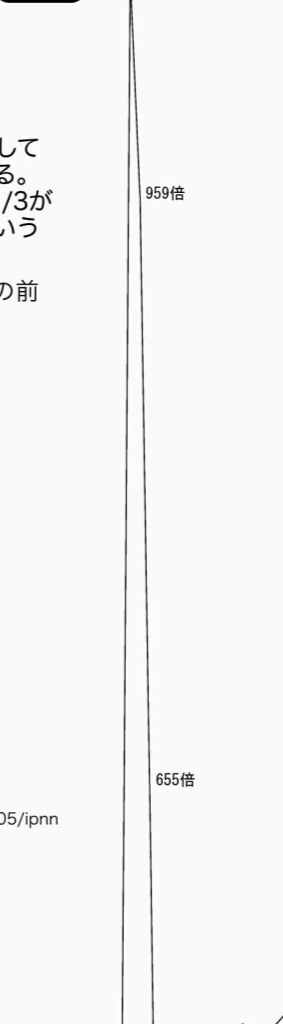
この資料はぜひインターネットでカラーでご覧ください
印刷してお配りいただくのも自由です
http://www.sunaga.org/works/img/help/help.gif
http://www.sunaga.org/works/img/311t/311t.gif

4 もともと大人の病気だった甲状腺癌が子供に激増していることから、子供がいかに被曝に弱いかがわかる。ゴメリ地区では「事故当時0-4歳だった乳幼児の1/3が生涯のいずれかの時点で甲状腺癌を発症する」という予測が、1998年WHOによって示された。

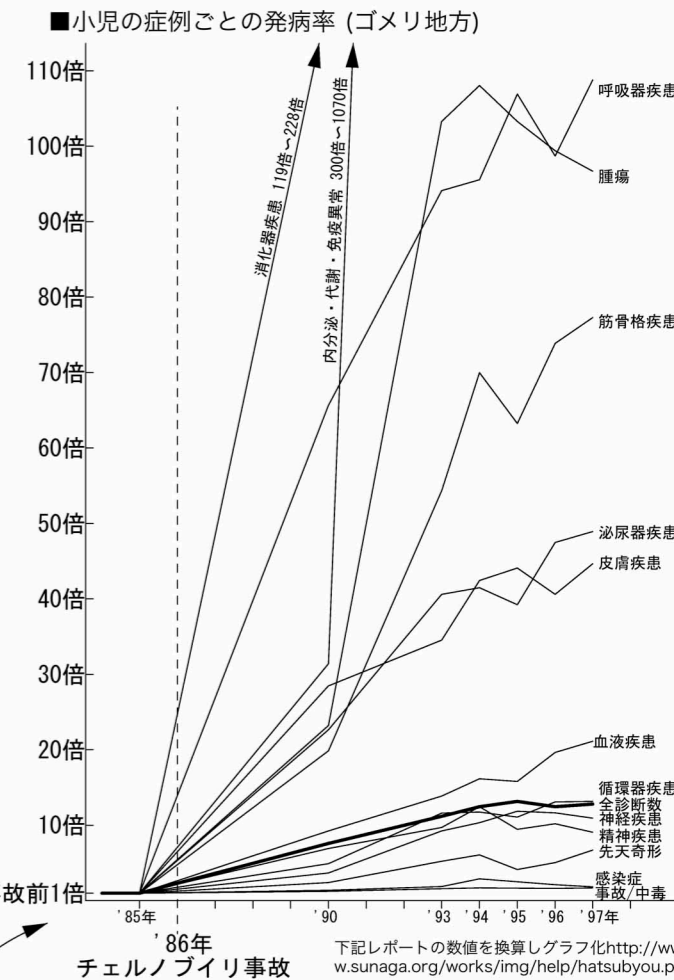
■ゴメリ地区の甲状腺がん、チェルノブイリ事故の前と後での変化



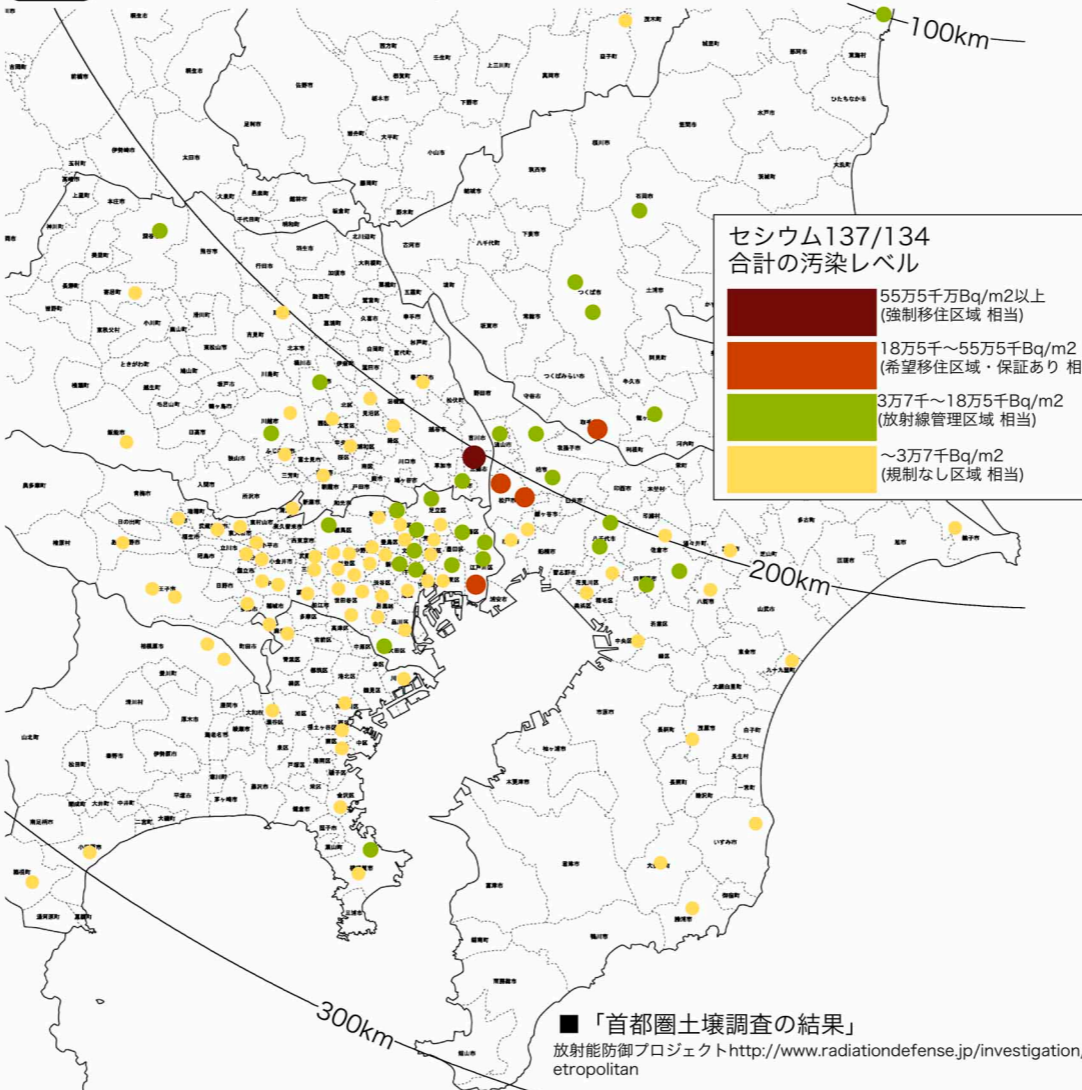
5 ん、1070倍？



6 10年後には健康な子供がいなくなる事故を境に「普通の病気が爆発的に増え」「直後よりも10年後の方が深刻な事態になる」ことがわかる。全ての疾患が増加している。



3 関東にも移住区域に相当する高汚染地 三郷・松戸・江戸川などの汚染度合いはチェルノブイリ基準の移住区域に相当することが明らかになっている。3万7千Bq/m2エリアは高汚染地ゴメリと同等レベル。



7 30人学級に36人が病気 事故前は「病気を抱えた子は30人学級に3人、または1人が3つの病気を抱えている」割合だったのが事故後には「30人学級に36人」つまり1人がひとつ以上の病気を抱える割合になった。その内「30人学級に25人」の子が呼吸器疾患です。

■ゴメリ地方の小児の疾病発病率 (〇〇人/10万人あたり)

疾患	1985	1990	1993	1994	1995	1996	1997
全診断数	9,771.20	73,754.20	108,567.50	120,940.90	127,768.80	120,829.00	124,440.60
感染症	4,761.10	6,567.70	8,903.30	13,738.00	11,923.50	10,028.40	8,694.20
腫瘍	1.40	32.50	144.60	151.30	144.60	139.20	134.50
内分泌・代謝・免疫異常	3.70	116.10	1,515.50	3,961.00	3,549.30	2,425.50	1,111.40
血液疾患	54.30	502.40	753.00	877.60	859.10	1,066.90	1,146.90
精神疾患	95.50	664.30	930.00	1,204.20	908.60	978.60	867.60
神経疾患	644.80	2,359.60	5,951.80	6,666.60	7,649.30	7,501.10	7,040.00
循環器疾患	32.30	158.00	375.10	379.80	358.20	422.70	425.10
呼吸器疾患	760.10	49,895.60	71,546.00	72,626.30	81,282.50	75,024.70	82,688.90
消化器疾患	26.00	3,107.60	5,503.80	5,840.90	5,879.20	5,935.90	5,547.90
泌尿器疾患	24.50	555.20	994.80	1,016.00	961.20	1,163.70	1,198.80
皮膚疾患	159.00	4,529.10	5,488.30	6,748.20	7,012.60	6,455.00	7,100.40
筋骨格疾患	13.40	266.00	727.70	937.70	847.40	989.90	1,035.90
先天奇形	50.80	121.90	265.30	307.90	210.10	256.20	339.60
事故・中毒	2,590.20	3,209.70	4,122.70	4,409.80	4,326.10	4,199.10	4,343.00

1985年は悪性腫瘍のみ。流産のために報告されない症例が非常に多い可能性あり。
IPPNWレポート「チェルノブイリ事故の人体への影響 原子炉の惨事から25年」http://peacephilosophy.blogspot.com/2011/09/sharp-increase-of-non-cancer-diseases.html

8 これだけの被害があってもソ連政府は放射能との因果関係を認めず、そのまま崩壊した。疾患原因の8割が内部被曝。さて、これだけ知っても放射能を含んだ土埃・食品・水を子どもの体へ入れ続けますか？ 政府を信じてまだ指示を待ちますか？

大人だろ？ さあ 勇気をだせよ